

Wills Wing TIII

コンペティション・クラス 試乗レポート

By ライアン・ボイト



「飛ぶことを愛する私にとって、機体や機材は、飛びというただ一つの目的のためだけのものだ。」



ウィルズウイング社を目指して、胸を高鳴らせながら、南カリフォルニアのフリーウエーをひた走る。

すでに TIII で飛んだパイロット達からはすごく良い評判を聞いていて、とても期待している半面で、新発売にありがちな過度な噂がどこまで本当だろうか、という気持ちも少しはあった。

しかし、それは完全に間違いだった。

TIII-144 を受け取り、テイクオフで組んでみる。私の T2C とほとんど変わるところが無い。注目のベアリングチップ機構も外見ではわからない。下面セールのパターンが違うのと、あとはよく見るとセールのカット、パネル取りが細部で少し変わったくらいだ。しかし、見た目ではなく、飛んだ感じが重要だ。



テイクオフで機体を担ぐと、ちょうど T2C と同じくらいの重さで、その前まで乗っていた機体よりは軽い。スタティックバランスが良くてピッチ、ロールのバランスもとりやすく、浮き出しがスムーズで、安心して離陸できる。



空中でもフレンドリーな飛行特性で、新たに適応しなければいけないような特性が無い。乗りやすい T2C のように、楽な飛行テクニックそのまま飛べる。無理に力を使ったり頑張る必要がない。

しかし大きな違いを感じるのは、とても低速で飛べると言うことだ。今まで飛んだことのあるどんなトップレス機よりも、簡単に速度を落とせる。実際の飛行速度が遅いのか、低速でのコントロール性が良いのか、はっきりとは分からなかったが、何しろ今までにないほど低速が使える。



最新のトップレス機ならでの沈下性能はもちろんだが、さらに低速が使えるので浅いバンクで小さく回すことが出来、上昇能力において明確なアドバンテージを感じる。浅いバンクということは、ピッチコーディネイトもハイサイドも少なくて疲れず、沈下率自体も良い。**まさに劇的な上昇能力の進化だ。**

上げ切ったところで VG を引く。グライド性能はどうだろうか？今まで乗っていた T2C でも十分すぎる滑空性能だったが、THH はさらに向上している。設計者のスティーブ・ピアソンによると、2 年半にわたって競技会で秘かに、何機かのプロト機を信頼できるコンペパイロットが飛んで、他の最新鋭機よりも高い性能を実証してきたそうだ。

そして、私が最も驚いたのは、フル VG のグライド時にちょっとしたサーマルか何かでとられたときの修正操作への効きの速さだ。わずかな操作でフル VG の機体を 1～2 秒で簡単に目指していたコースに戻すことが出来る。ターンもフル VG の高性能機とは思えないほど楽にできる。本当に画期的なことである。

この日のフライトは、素晴らしい上昇とグライドの繰り返しで、自分で微笑みが絶えなかった。これは、実際に飛んでみなければ理解できないことだ。

大事な試乗機を借りているのでランディングには集中したが、素晴らしいコントロール性のおかげで楽に降ろせた。ただ、正確なターゲットにこだわる私にしては、僅かにオーバーしてしまい、滑空性能の高さのせいにしたいところだ。

その後も西海岸のフライトエリアで飛びまくったが、印象は変わらなかった。これは、全く新しい高性能機だ。単なる T2C の向上型ではない。全ての飛行性能、コントロール性、運動性能、飛行域において進化している。「新型の T2C に新しい名前が付いた」のだと思っていた私の考えが、完全に覆された。

これほどの進化は、ベアリングチップだから可能だったのだろうか？後でスティーブ・ピアソンに聞いてみた。まず彼が話してくれたのは「ベアリングチップを使うのは、実はとても難しく、開発は困難を極めて一時は自分でもあきらめかけたほどだった」というこ

とだが、その努力は、ハンググライダー史上の快挙となって報われた。ただし、彼は、TIII の成功はベアリングチップ以外の努力にもよっている、とも付け加えている。

残念ながらいくら軽くて乗りやすいとはいっても、TIII は超高性能機であって、全てのハンググライダーパイロットが乗れるものではない。しかし、すでにトップレス機で飛んでいるパイロットにとっては、ハンググライダーの新たな進化を実感できる素晴らしい贈り物だ。



■ スペック表

	T3 - 136	T3 - 144	T3 - 154
翼面積 (㎡)		13.4	14.3
スパン (m)		10.0	10.4
アスペクト比		7.5	7.6
グライダー重量 (kg)		32.2	33.1
許容吊り下げ重量 (kg)		73 - 107	84 - 129
WW推奨の裸体重 (kg)		68 - 82	82 - 91
ノーズ角 (°)		127 - 132	
ダブルサーフェイス比 (%)		92	
推奨USHPA技能証		4	
Vne (超過禁止速度) (km/h)		85	
Va (最大運動速度) (km/h)		74	
Vms (中間重量での最小沈下速度) (km/h)		34	
Vd (最小重量での最大速度) (km/h)		113	
分解長 (通常運搬時) (m)		5.0	
梱包長 (リアスパー分解) (m)		3.9	4.1